

大学のブランドイメージを上げるため

# リスクマネジメント体制の構築

野田ブランドコミュニケーションズ

野田光一

# 自己紹介

野田 光一 のだ みつかず

- 野田ブランドコミュニケーションズ 代表
- 甲南女子大学 ブランド広報主幹 2008~2014
- 京都産業大学 大学院 マネジメント研究科講師 2009~2013
- 元・パナソニック(株) 本社 CC本部 総括部長  
パナソニック宣伝部長

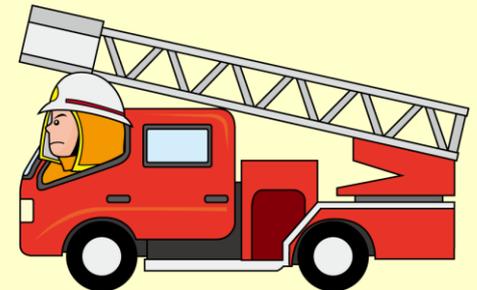
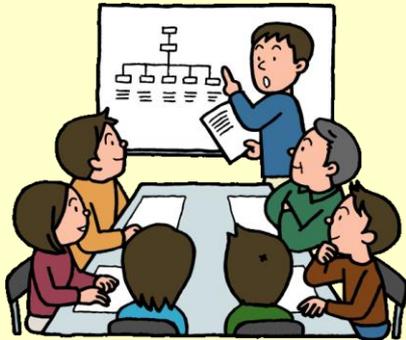
宣伝 広報 ブランド戦略  
企画 調査

- 国際CCO交流研究所 常務理事
- 日本広報学会 会員



# 大学のリスクマネジメント

1. 大学のリスクマネジメントは、なぜ必要か
2. 大学におけるリスクとは
3. リスクマネジメント体制の考え方
4. 平常時と緊急時のリスクマネジメント

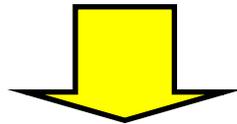


# リスクマネジメントは、なぜ必要か

天災・人災・事件・事故・疾病・負傷  
違法行為・反社会的行為・不祥事・環境破壊  
スキャンダル・各種トラブル

大学側が対応を誤ると

大学の社会的責任の欠如  
信頼・信用の失墜



大学ブランドイメージの低下

大学の経営危機を防ぐため

# 「大学リスク」の種類

A 予防可能  
B 半予防可能  
C 予防不可能

大学のトラブル 管理 教育 研究 業務	大学の経営	A	反社会的行為、違法行為(教育基本法、学校教育法…)
	人事・労務・経理	A	過労死、職業病、労働条件、デリバティブ、金銭トラブル、教職員不祥事、スキャンダル、大麻・覚せい剤、人権侵害・ハラスメント
	教育研究活動	A	知的財産権侵害、研究倫理、利益相反、研究費の不正使用 卒業判定、体罰、ハラスメント…
	入試募集活動	A	入試問題漏洩、インターネットカンニング、出題ミス、採点ミス 入試管理上のトラブル、裏口入学…
	IT管理・情報セキュリティ	A	各種ITトラブル、機密情報・個人情報の漏洩、プライバシーの侵害 サイバーテロ、ハッカー行為、重要情報の持ち出し、操作ミス…
大学内の安全	疾病・負傷	B	感染症(新型インフル、SARS, はしか、結核、肝炎…) 授業・クラブ活動中の事故、メンタルヘルス、救急医療対応
	学園内トラブル	B	食中毒、危険食品、不審者・不法者の進入、恐喝、脅迫、傷害、誘拐 強盗、詐欺、動物による危害(犬、猪、アライグマ、カラス…)
大学外の安全	通学・通勤トラブル	B	通学・通勤上の事故、マナー違反、痴漢行為、性的いやがらせ ストーカー行為、スクールバス関連、騒音・排気ガス問題
	国内でのトラブル	B	実習先・研修先・インターンシップ先・出張先・対外活動先 対外試合先・社会貢献先などでのトラブル、交通事故…
	海外でのトラブル	C	戦争、内乱、紛争、テロ、ハイジャック、銃乱射、誘拐 留学先・出張先での事件、事故、疾病、災害…
災害	天災 C 人災 B		地震、津波、台風、雨、風、雷、洪水、土砂、竜巻、氷雪、雹 火災、爆発、環境汚染、原発事故…

# リスクマネジメント体制 3つの重要ポイント

1

## 大学の全体最適を考える

自部門優先発想を捨てる  
リスクマネジメント情報の一元化  
ノウハウの蓄積

2

## 経営トップの強力なリーダーシップ

トップダウンの指揮命令系統  
シンプルな組織体制  
教員、職員、学生の意識づけ・参画

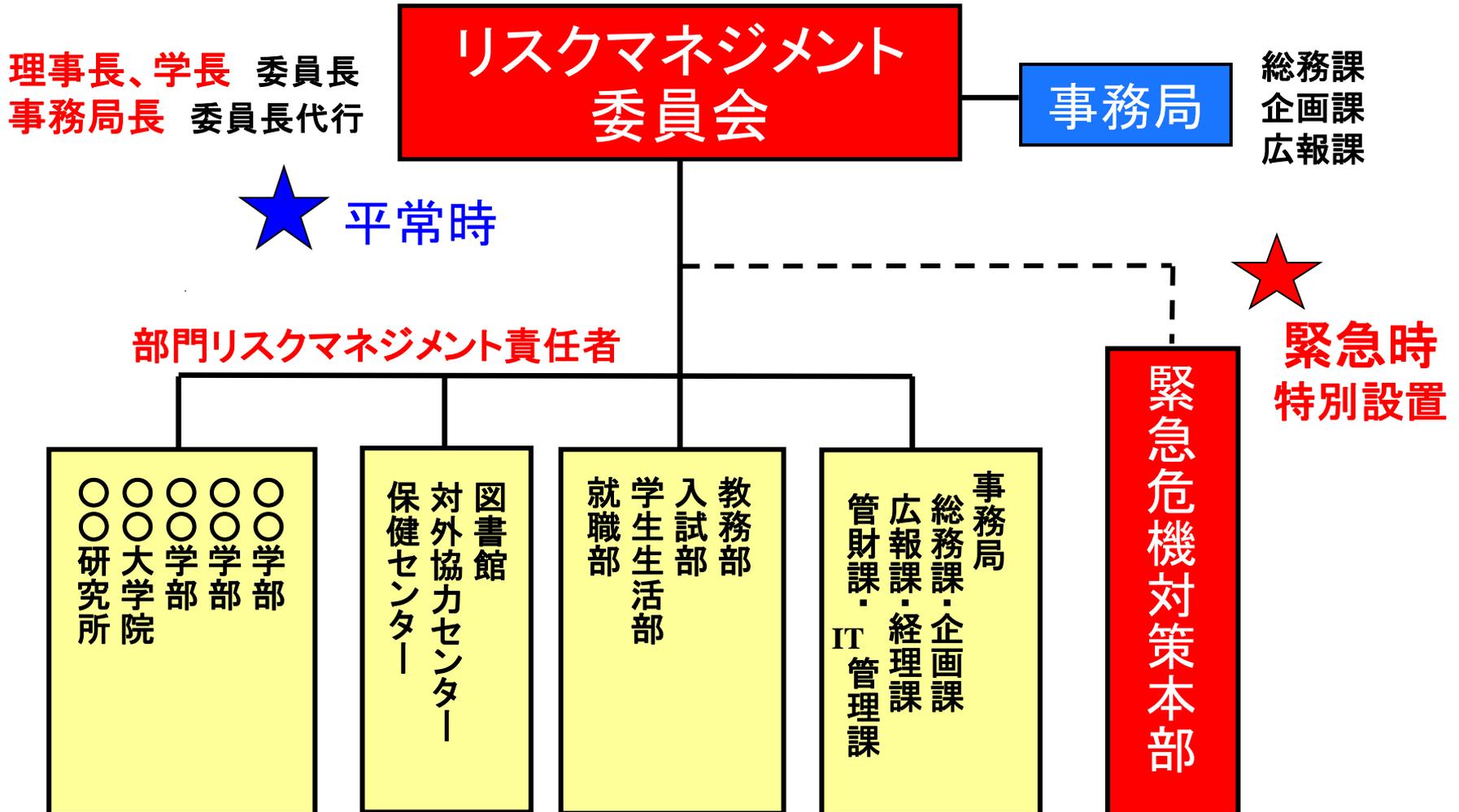
3

## 現場重視のリスクマネジメント体制

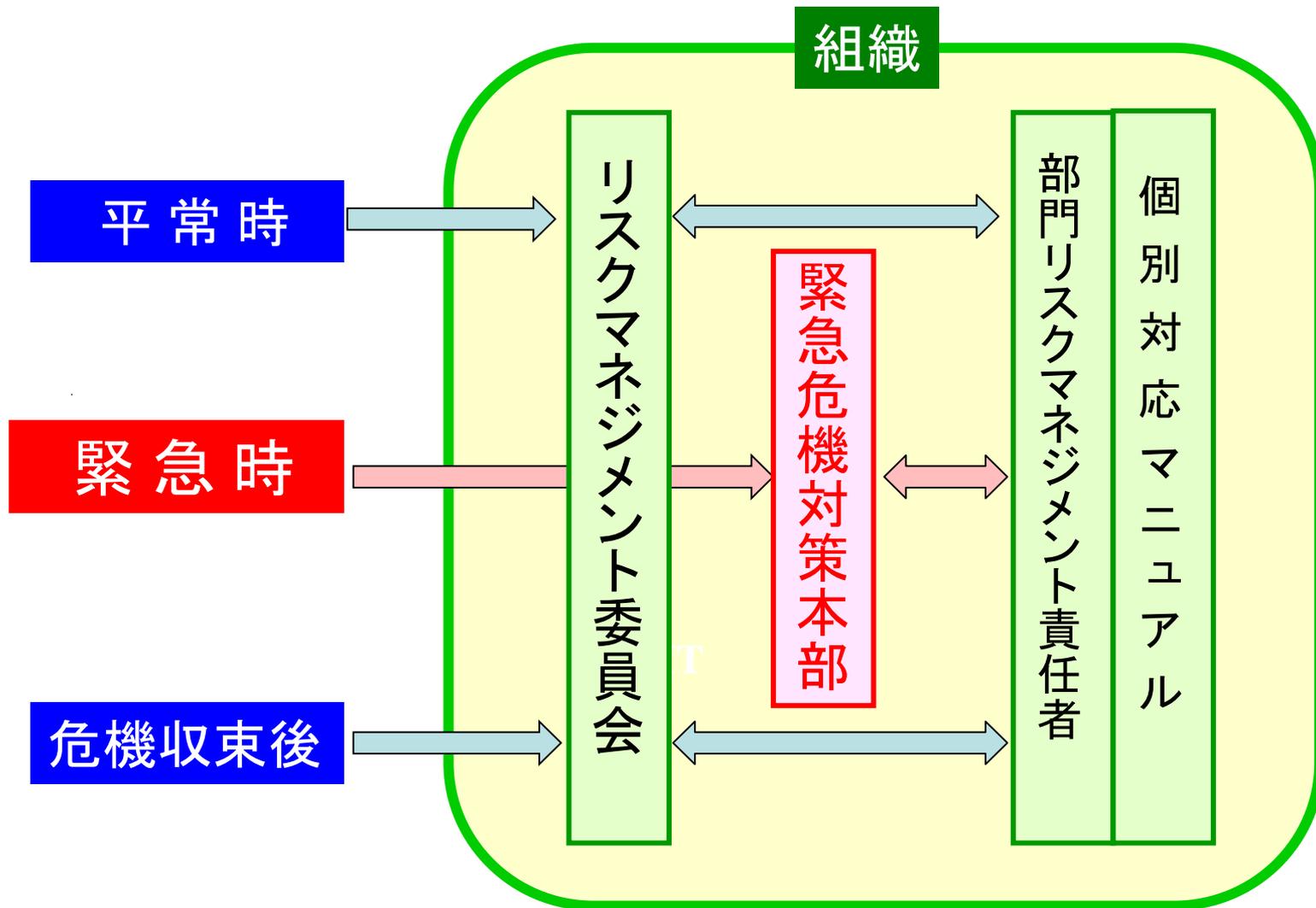
各部門の責任者がキーマン  
スピード&コミュニケーション  
個別対応マニュアルの充実

# リスクマネジメントの組織体制

## 大学全部門の横断的組織



# 「基本ガイドライン」と組織体制



# 平常時 「リスクマネジメント委員会」の設置

## 目的

学生・教職員の安全、教育研究活動、財産、ブランドイメージ等に重大な被害を発生させるおそれがあるリスク又は発生した危機に対して、迅速かつ的確に対応するため、リスクマネジメント委員会を設置する。

## メンバー

理事長・学長(委員長)、常務理事、事務局長(委員長代行)  
〇〇学部長、〇〇学部長、〇〇学部長、〇〇所長  
総務課長、企画課長、広報課長、その他委員長が必要と認めた者

## 役割

1. リスク、危機等の情報収集及び対策の検討
2. 「リスクマネジメント基本ガイドライン」の策定
3. 個別対応マニュアルの検証
4. 教職員・学生に対する全学的な訓練・研修等の企画・実施
5. その他、リスクマネジメントに必要と思われる事項の検討

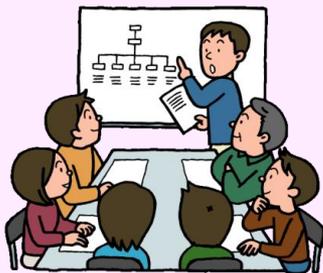
# 平常時のリスクマネジメント

## リスク情報の収集

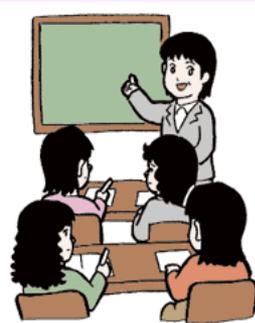
学生、教職員からの情報、アンケート調査  
学内取材、Web情報、内部告発  
他大学情報 など

## 危機対応の準備

リスクマネジメント委員会の設立  
基本ガイドラインの策定  
個別対応マニュアルの作成  
避難誘導環境の整備  
学生・教職員 安否確認システム  
学内広報発信 など



## 啓蒙・研修・講義



## 緊急記者会見 シミュレーション



## 消防避難訓練

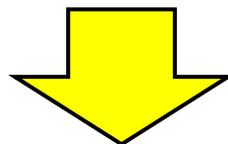


## 救急救命訓練



# 「部門リスクマネジメント責任者」の役割

## リスクマネジメント委員会の方針



部門リスクマネジメント責任者 = 当該部門の長

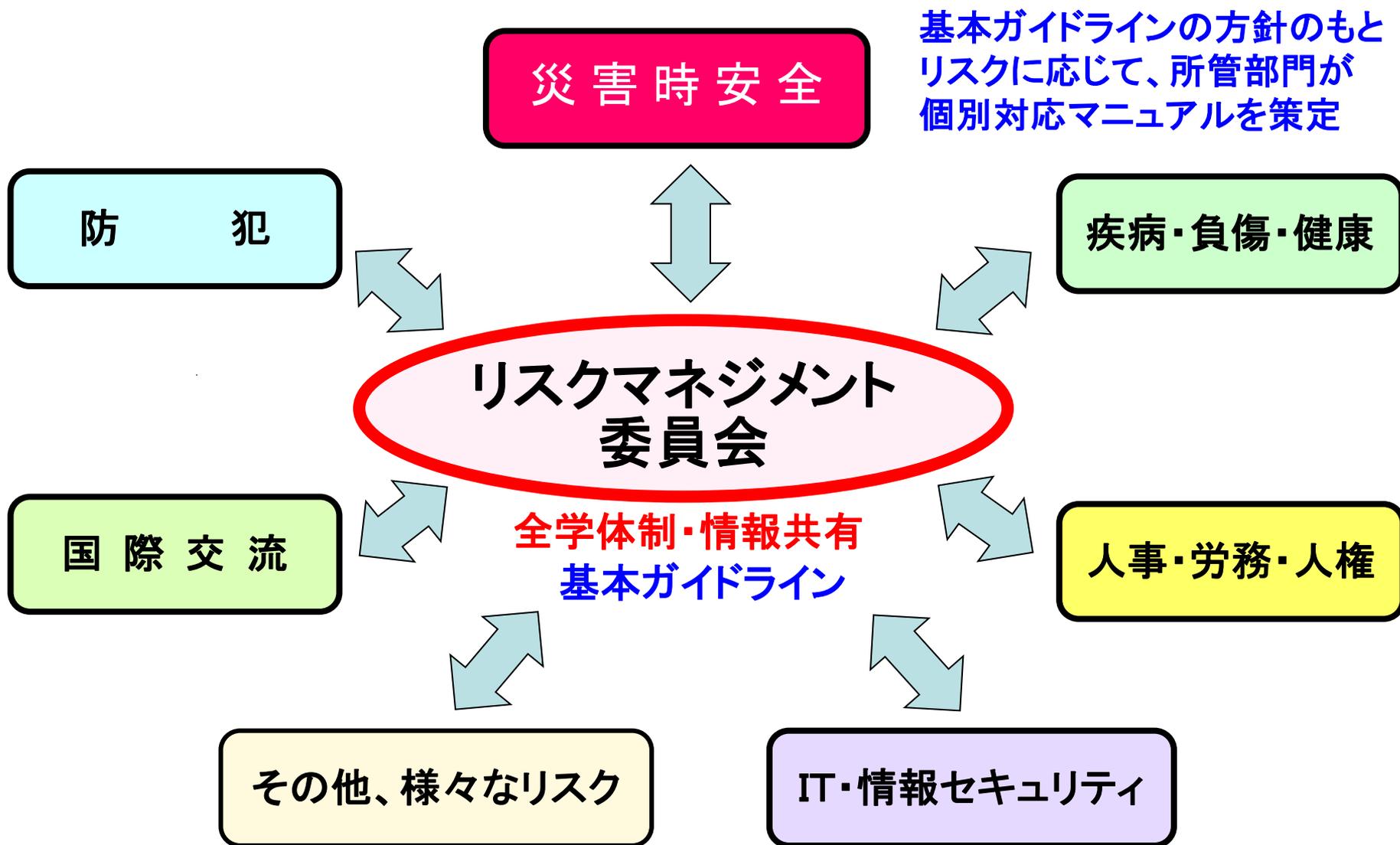
リスクマネジメントの推進

必要な対策の検討

### 役割

1. リスク、危機等の把握及び対策の検討
2. 個別対応マニュアルの策定
3. 学生、教職員等への情報提供
4. 教職員のリスクマネジメント意識の醸成
5. リスクマネジメント委員会への報告
6. その他リスクマネジメントに必要と思われる事項の検討

# 「基本ガイドライン」と「個別対応マニュアル」



## 緊急時

# 「緊急危機対策本部」の設置

## 目的

緊急に対処すべき危機が発生又は発生するおそれがある場合において、全学的に対策を講じることを目的とし、学長判断により設置する。

## メンバー

理事長・学長(委員長)、常務理事、事務局長(委員長代行)  
総務課長、企画課長、広報課長、当該危機の所管部門の長  
その他委員長が必要と認めた者

## 役割

1. 危機への対応方針の決定
2. 被害者の救済及び二次被害(二次発生)の防止
3. 事実関係の把握、分析及び評価
4. 暫定的対策の策定及び実施
5. 原因の究明並びに恒久的対策(再発防止策)の策定及び実施
6. 広報対応を含む大学外との渉外対応
7. その他危機への対応に関する指揮命令

危機収束後は、緊急危機対策本部を解散する

# 緊急時の危機管理（一般的な流れ）

## 1. 危機発生後



- リスク情報の把握
- 的確な初期対応、体制づくり  
（スピード、誠実、情報開示）
- 世論、時代の流れ、社会の空気を読む
- 公式見解、解決策、法的チェック

## 2. 緊急記者会見



- ① 謝罪
- ② 現状説明
- ③ 原因究明
- ④ 解決策発表
- ⑤ 責任表明



## 3. 事後フォロー

- 解決策推進、結果のチェック
- 事後広報、謝罪広告
- 信頼の回復

私たちのリスクマネジメント能力が  
大学のブランド力を高めます！

